

VI 昭和38年2月「県政ニュース No. 46」

③雪に鍛える…湯沢東小まくれんこ学級



三学期の始まった湯沢市東小学校のまくれんこ学級。この学級は身体の弱い一年生と二年生を丈夫にするため、秋田大学の島先生が考えた特別な学級です。教室の中で自由に逆立ちなども出来ます。現在この学級は30人くらい。初めは跳ねる事さえ難しかったこの子供たちが担任の山田先生の指導でこんなに見事なトンボ返りも出来るようになりました。今まで11人がこの学級から普通

学級に帰っていますが他の子供たちよりむしろ丈夫で、このまくれんこ学級は今学会でも注目されています。

VII 昭和39年4月「県政ニュース No. 55」

③ふるさと散歩…阿仁



(略) 阿仁の根子はマタギの里として知られている。マタギとは狩猟を専門としている人を言うが純粋なマタギはもう存在しない。狩猟だけでは生活を支えることが出来ないからである。熊狩に使った槍。昔のマタギはこの槍一本で大熊と対決したという。服装も長年の経験から軽くてしかも寒さを防ぐ工夫が凝らされている。時代の変遷はマタギの習俗を変えた。しかし祖先から伝わったその気質と狩猟法はこの山間に獲物の

いる限り受け継がれていくことであろう。根子番楽。根子部落は源平合戦の落人によって開かれたと言われ、この番楽には源氏に因んだものが多く勇壮な舞である。(以下略)

秋田県公文書館主催事業のお知らせ

企画展(後期)

「秋田県の城下町」

会場 当館2階特別展示室

期間 11月12日(火)～12月3日(火)

第2回歴史講座

「近世から近代の「秋田」を見る」

会場 当館3階多目的ホール

日時 11月29日 午後1時30分～午後3時

■秋田県公文書館■

〒010-0952 秋田市山王新町14-31

TEL 018-866-8301

FAX 018-866-8303

E-mail koubunshokan@pref.akita.lg.jp



県政映画上映会

～秋田昭和の時代 映像アーカイブ～

令和元年11月3日(日)

秋田県公文書館 3階 多目的ホール

午前の部: 午前11時～正午

午後の部: 午後2時～午後3時

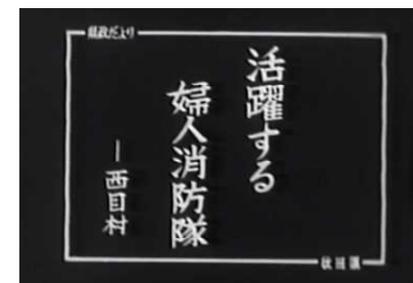
本日のプログラム

◆ ごあいさつ ◆

◆ 作品上映 ◆

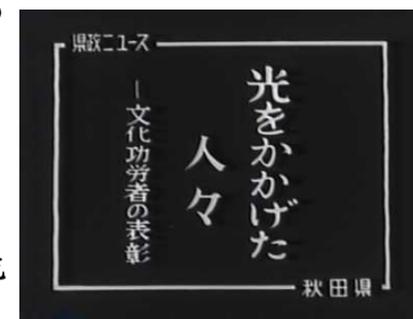
I 昭和31年5月「県政だより No.1」

- ① 鎧畑発電所の竣工迫る ② 活躍する婦人消防隊
- ③ トピックス…小畑知事本年度初の県内視察・町や村に移動県庁、夏井選手晴れの郷土入り
- ④ 備えあれば憂えなし～水防訓練



II 昭和32年5月「県政ニュースNo.5」

- ① 春を呼ぶ ② 山の上から魚を
- ③ トピックス…お巡りさんの新入生、生橋・鷹橋線の着工決まる、栄光 夏井六段へ
- ④ 村の放送局 ⑤ 地滑り、火災、相次ぐ災害



III 昭和32年11月「県政ニュースNo.8」

- ① 光をかかげた人々 ② 豊作の後に
- ③ トピックス…栄養指導車県内巡回、美容師試験実施

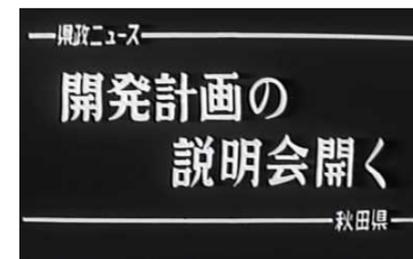
IV 昭和33年2月「県政ニュースNo.10」

- ① 雪の祭典開く～県体スキー大会
- ② 増産目指す薫工品 ③ 春にさきがけて

～ 休憩 ～

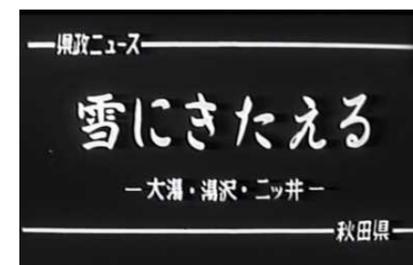
V 昭和34年3月「県政ニュースNo.19」

- ① 雪の名残り ② 全県町村長会議開く



VI 昭和38年2月「県政ニュースNo.46」

- ① 開発計画の説明会開く
- ② ひらかれる原野～鷹巣町陣場岱
- ③ 雪に鍛える…ボーイスカウト冬期訓練、湯沢東小まくれんこ学級、ニツ井町スキーカーニバル



VII 昭和39年4月「県政ニュースNo.55」

- ① 予算県議会開く ② ピッチを上げる道路復旧
- ③ ふるさと散歩…阿仁

～はじめに～

郷土秋田のニュース映像を7本上映!

秋田県内でのテレビ放送が始める前の昭和30年、県では当時人気の「映画」の幕あいに上映する広報に新たに取り組みました。「県政だより」「県政ニュース」などの名前で上映されたこの広報は、県政や地域の紹介など多くの話題を提供しました。

秋田県公文書館では、これら県政映画を保存し閲覧室で公開しておりますが、スクリーンで上映し皆様にご鑑賞いただく上映会も開催しております。

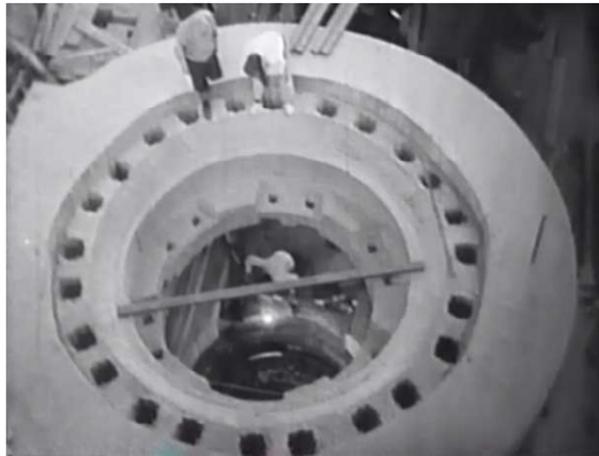
今回は、第二回県文化功労者の表彰式や阿仁根子番楽の模様など「文化の日」にちなんだ作品など7本の作品を上映します。

いずれも当時を偲ばせる貴重な映像ばかりです。懐かしい昭和の秋田をぜひご覧ください。



～ナレーション採録～ ■ナレーションの一部を採録しました■

I 昭和31年5月「県政だより No. 1」



① 鎧畑発電所の竣工迫る

阿仁・田沢特定地域総合開発の主要事業として昭和27年工事に取りかかった仙北郡田沢村地内の鎧畑堰堤は青葉薫る玉川の上流に一步一步竣工に向かって力強い歩みを見せています。

この堰堤の完成は昭和32年度になりますが、堤の高さ55メートル、長さ250メートルに及ぶダムは威容は玉川上流の新しい名所となる事でしょう。またこのダムを隧道で繋ぐ県営鎧畑発電所は昭和28年暮れから公費15億6500万円で着工、現在八部通り

出来上がっています。目下機材の取り付けその他内部の整備に昼夜兼行の突貫工事を急いでいますが、竣工は本年9月末に予定されています。やがて完成の暁は最大15,700キロワットという発電電力を持ち本県産業発展のため大きな貢献をなすことでしょう。

II 昭和32年5月「県政ニュース No. 5」



③ 栄光 夏井六段へ

昭和32年度柔道全日本選手権大会は5月5日東京蔵前の国技館で行われました。本県の夏井昇吉六段は世界選手権保持者の王座揺るがず決勝で曾根五段を破り堂々初の優勝をしました。これで夏井六段は柔道界の栄誉である二つのタイトルを獲得する偉業を成し遂げ、8日、優勝に輝く天皇杯を抱いて晴れの郷土入りをしました。まず秋田駅前母校秋田工業高校の生徒や市民の割れるような拍手に迎えられました。かくてオープンカーで秋田市内を行進、市民の歓迎に

応え、その後県庁前広場の歓迎会に臨みました。

III 昭和32年11月「県政ニュース No. 8」

② 豊作の後に



今年は3年続きの豊作とあって米一本槍で苦しんできた農家もほっと一息というところ。早場米の出足も順調で10万農家の懐に入った米代金は前渡し金も含めてざっと200億円とされています。(略)

この頃になると農村は待ちかねたように結婚ブーム。施設の無い村々では大部分が座配人による自宅結婚で花嫁さんは部落備え付けの振り袖を着用に及んでのお輿入れです。持参の荷物も今は必要最小限でタンスに代わってミシンが持ち込まれるのも現代風景。やがて結

婚式が始まります。いとも厳粛な三三九度も新郎新婦にはうっとり夢心地。しきたりによって謡(うたい)を唸るのは座配人の役目のひとつ。結婚が改善されても嫁観だけは昔ながらです。披露宴は簡素にという申し合わせで、お膳の上は五品酒二合という緊縮ぶりです。(以下略)

IV 昭和33年2月「県政ニュース No. 10」

② 増産目指す藁工品



稲藁を材料にした縄作り、筵(むしろ)作りは古くから雪深い農村の暮らしの中に生まれて手仕事として営われてきました。今本県では約7億円に上る藁工品が作り出されていますが、そのうち3億円に近いカマスや縄が県外に売り出されています。平鹿郡大森町を中心にした一帯は雪国の暮らしに欠くことの出来ない日用藁工品が多く作られてきたところ。素朴なてっさびで編まれたわら靴などは今でもこの地方の暖かい履き物となっています。また外行き用の見事ながせぐら。こうした村の学校ではみご縄作りを実習科目に取り入れています。

大曲市の飯田筵(むしろ)市は旧正月の名物となっていました。時代の移り変わりから最近では井草の栽培による畳表が多く並ぶようになりました。(以下略)

V 昭和34年3月「県政ニュース No. 19」

① 雪の名残り…旭岡山神社梵天奉納



(略) 続いて行われた旭岡山神社の梵天奉納も今年は春を思わせる陽気に大変な人出でした。まず市役所前に近郷近在から駆けつけた数十本の梵天が勢揃い。盛大なコンクールが行われました。色とりどりの意匠を施した梵天。昔ながらの豪華な麻糸作りや皇太子のご結婚を祝った梵天などが人目を引きました。豊作の祈りを込めて神社へ奉納する勇ましい競り合い。元気一杯な若者たちの梵天歌が春を呼ぶように流れていきます。